

## 諏訪之瀬島の火山活動解説資料

福岡管区気象台

地域火山監視・警報センター

鹿児島地方気象台

＜噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げ＞

御岳<sup>おたけ</sup>火口では、昨日（30日）から本日（31日）にかけて火口中心から1km近くまで飛散する大きな噴石が複数回観測されており、噴火活動が活発化しています。

諏訪之瀬島では火山活動が高まっていることから、31日03時30分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げました。

### 【防災上の警戒事項等】

御岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

### ○ 活動概況（図2～5）

御岳<sup>おたけ</sup>火口では、長期的に噴火を繰り返す中で、噴火活動がさらに活発化しています。

昨日（30日）から本日（31日）にかけて、御岳火口中心から1km近くまで飛散する大きな噴石が複数回観測されています。昨日22時05分の爆発及び本日02時57分の爆発では、弾道を描いて飛散する大きな噴石が火口からそれぞれ南方向と南東方向に最大で1km近くまで飛散しました。それぞれの爆発に伴う噴煙は最高で火口縁上800mまで上がりました。

御岳火口では、30日から爆発が増加しており、昨日は20回、本日04時までには7回（速報値）発生しています。

傾斜計による地殻変動データに、大きな変化はみられていません。

---

この火山活動解説資料は福岡管区気象台ホームページ（<https://www.data.jma.go.jp/fukuoka/index.html>）や気象庁ホームページ（[https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)）でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、京都大学、東京大学及び十島村のデータも利用して作成しています。資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています。



図1 諏訪之瀬島 警戒が必要な範囲

御岳火口から概ね2 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。



図2 諏訪之瀬島 噴火の状況（3月30日（左）、31日（右）、キャンプ場監視カメラ）

30日22時05分の爆発及び31日02時57分の爆発では、弾道を描いて飛散する大きな噴石が火口からそれぞれ南方向と南東方向に最大で1km近くまで飛散しました（白矢印）。

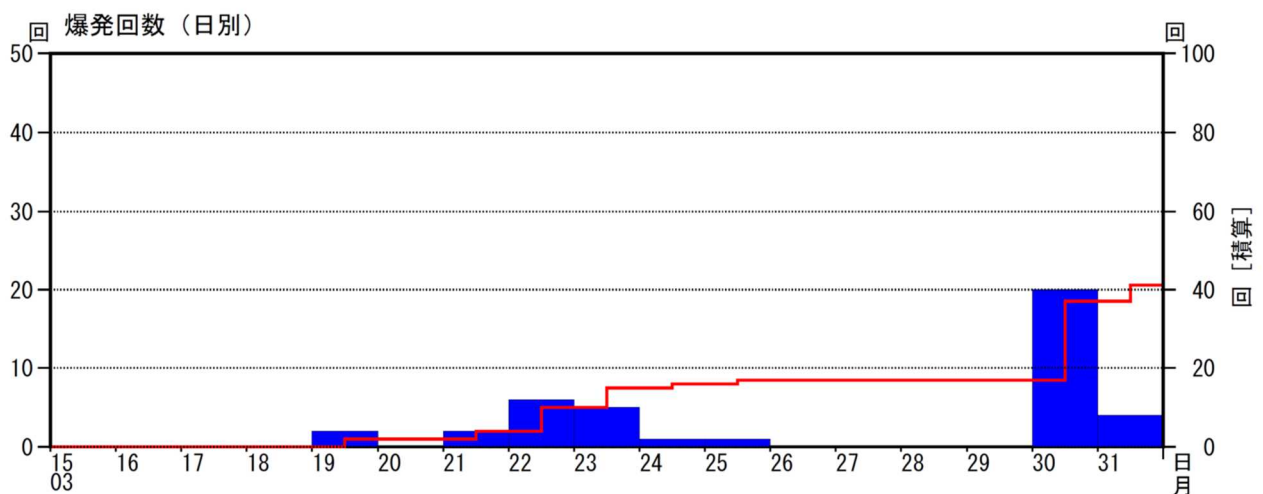


図3 諏訪之瀬島 爆発の日別回数と積算回数（2021年3月15日～31日04時速報値）

30日から爆発が増加しており、30日は20回、31日04時まで7回（速報値）発生しています。

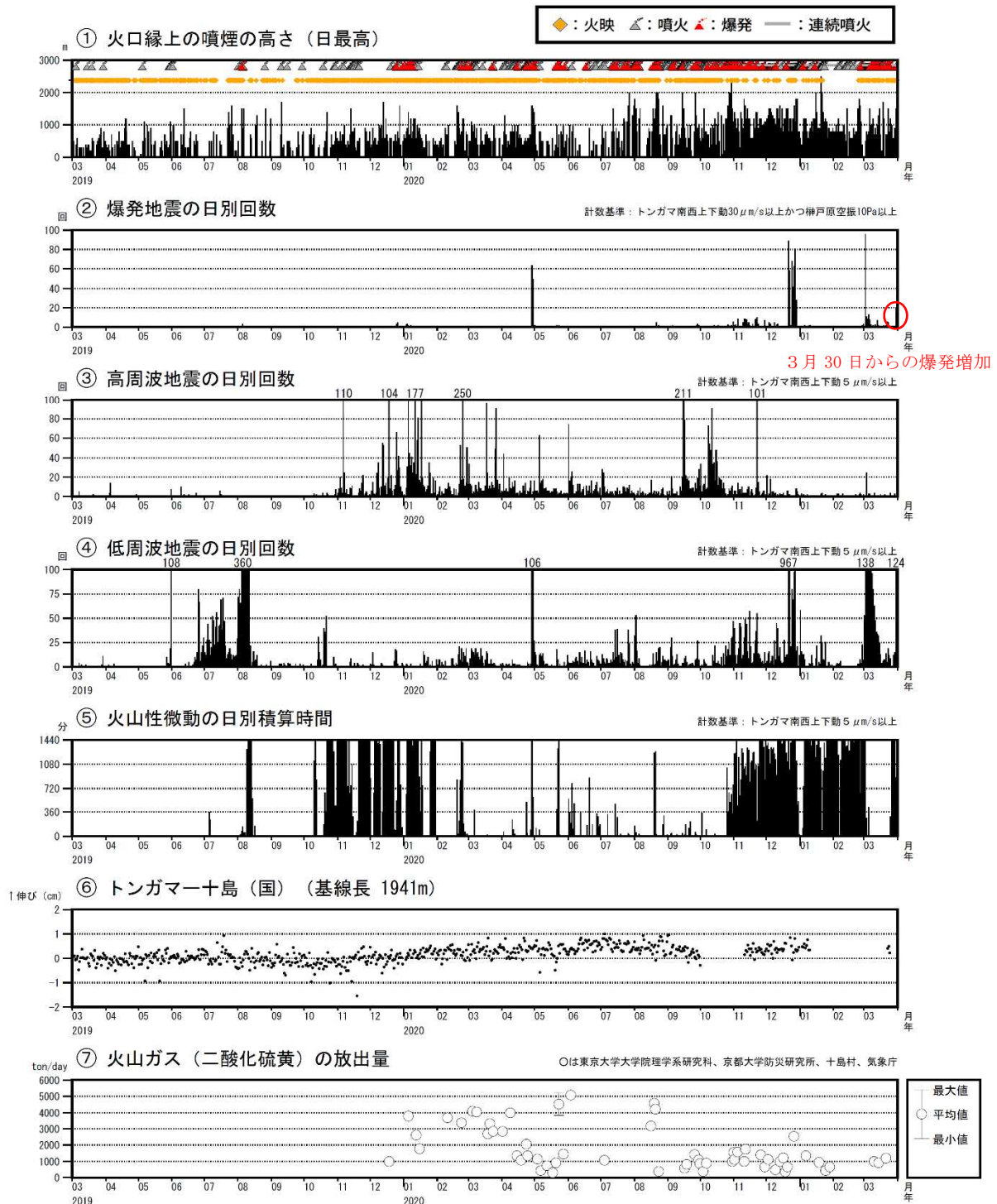


図4 諏訪之瀬島 最近の火山活動経過図（2019年3月～2021年3月31日04時速報値）

- ・ 3月30日から爆発が増加しています。
- ・ 火山性微動は主に噴火に伴って発生しています。
- ・ 東京大学大学院理学系研究科、京都大学防災研究所、十島村及び気象庁が実施した観測では、3月の火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね1日あたり1,000トン前後で経過しています。

東京大学大学院理学系研究科、京都大学防災研究所、十島村及び気象庁は2019年12月より火山ガス（二酸化硫黄）放出量の観測を始めました。

トンガマ南西観測点の地震計の機器障害により、ナベタオ観測点または御岳南山腹観測点で計数している期間があります。

⑥の基線は図5の①に対応しています。空白部分は欠測を示しています。

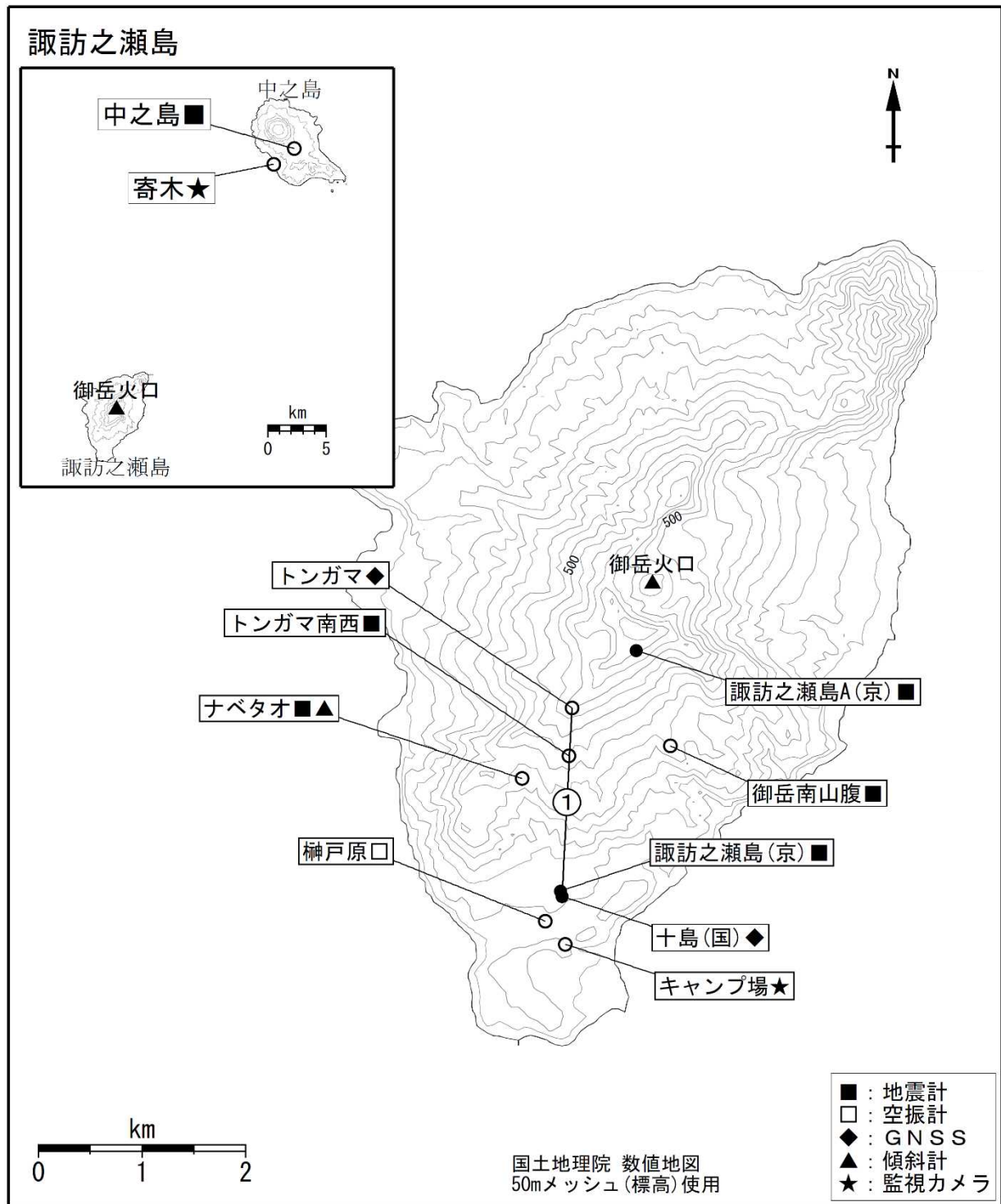


図5 諏訪之瀬島 観測点配置図とGNSS連続観測による基線番号

小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
(国): 国土地理院、(京): 京都大学